

ヒトと動物の体

■ 食べ物の消化吸収

- 口から取り入れた食べ物は、消化管の中で消化され、小腸で食べ物の養分が吸収される。
- 小腸で血液中に入った養分は、全身に運ばれる。かん臓ではその養分をたくわえている。

消化管 → 口 → 食道 → 胃 → 小腸 → 大腸 → こう門

小腸から運ばれた養分をたくわえて必要なときに送り出す。→ かん臓

主に食べ物、水分を吸収する。

→ 大腸

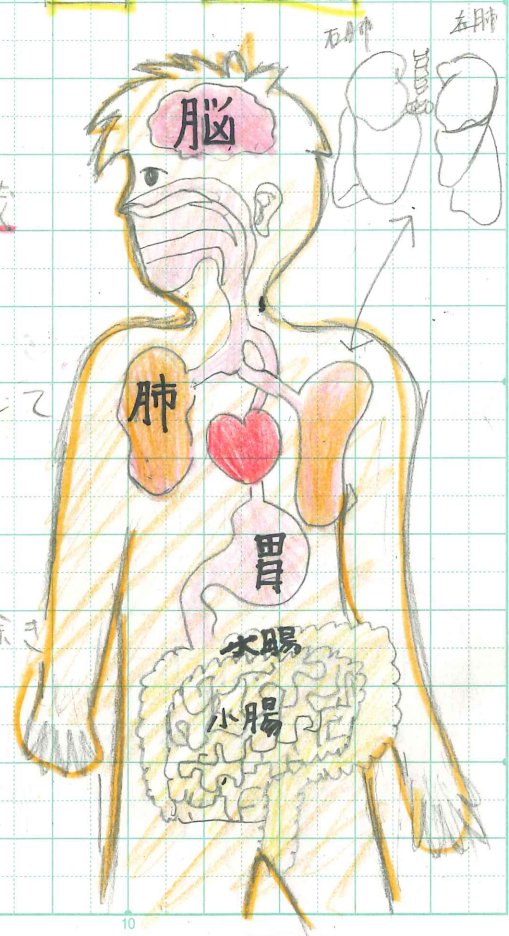
食道の次にある部分で、消化液を出して食べ物を消化する。→ 胃

空気中の酸素を血液に取り入れて二酸化炭素を血液から出す → 肺

いらなくなつたものを血液から取り除き尿をつくる。→ じん臓

養分や水分を吸収する → 小腸

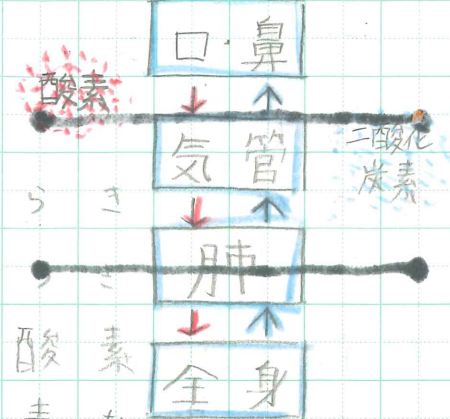
血液を全身に送る → 心臓



ふりかえり 復習できた。

■ 呼吸のはたらき

- 呼吸によつて、体内に酸素を取り入れ、体内でできた二酸化炭素を出している。

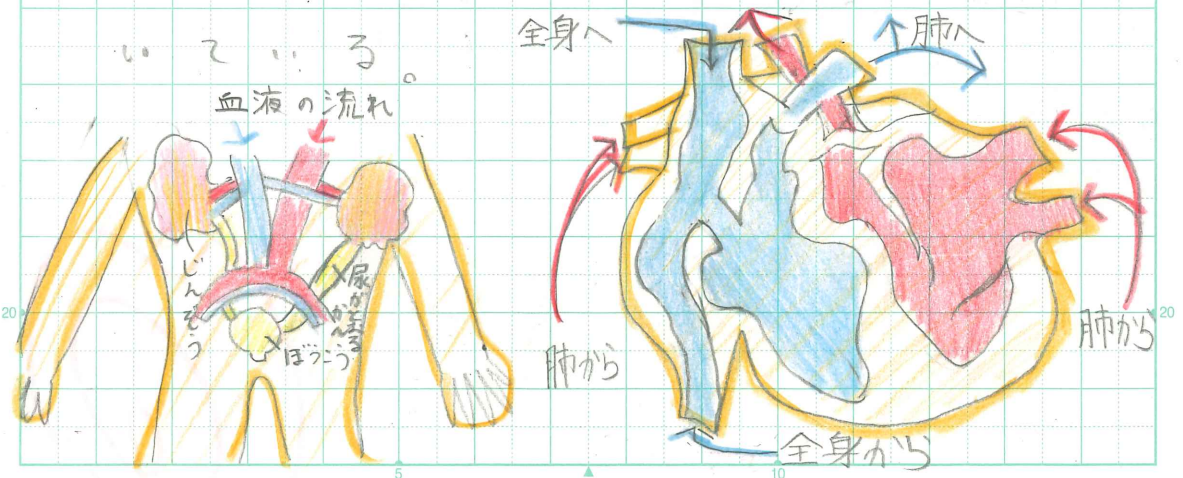


- 心臓と血液のはたらき
- 血液が心臓のはたらきで全身をめぐる。酸素や養分・二酸化炭素など

- を運んでいる。
- じん臓で不要なものがこし出され、尿がでる。

■ 生命を支えるしくみ

- 体の中の臓器は、血液によつてたがいにつながり合つてはたっている。



ふりかえり しっかりまとめられた。